

# 愛ことば

～安倉中愛 友よ～

宝塚市立安倉中学校  
校長だより  
2025(令和7)年  
6月19日(木)  
第4号

第4号をとばしてましたので  
今号を第4号とします。次号は第7号です。

## 「思いは見えないけれど 思いやりは見える」～全校集会で伝えたかったこと～

少し前になりますが、前回の全校集会での話を少しアレンジして紹介させていただきます。それは、あるCMの話からでした。東日本大震災後によく流れたACジャパンのCMです。このCMでは、

「こころ」は だれにも見えないけれど「こころづかい」は見える

「思い」は 見えないけれど「思いやり」は だれにでも見える

その気持ちをカタチに

ということばが流れていました。これは、詩人の宮澤章二さんの「行為の意味」という詩から引用されたものです。安倉中での生活の中でもこの「こころづかい」や「思いやり」が見えたり感じたりした場面がありました。

各階のトイレ前には、スリッパが置いてありますが、そのスリッパがほとんどきっちりと揃えられています。とても立派なことと思っています。きっと誰かが急いでいて揃っていないこともあると思いますが、気付いた誰かが直してくれているのでしょう。ほとんど揃っています。皆が気持ちよく学校生活を送るために心掛けてくれているのでしょう。

また、この安倉中では、玄関や廊下にある花や各階の掲示物や写真もたくさんのもものがほぼそのままのあるべき姿で飾られています。これらも「こころづかい」や「思いやり」が見えるものです。安倉中の生徒の皆さんや先生たちの温かな「こころづかい」や「思いやり」が見えるのをとてもうれしく思っています。

また、このような形として残る行為ばかりでなく、たった一言のあいさつや表情、言葉などでも「こころづかい」が見えることがあります。話すことが苦手な人は、ほほえみかけるだけでも思いは伝わります。そっと手を貸すことや寄り添うこと、小さな行為の中に「思いやり」を見つけられるといいですね。自分の「思いやり」の気持ちを行為としてあらわすことと同じように他の人の「思いやり」に気づける人もまた、同じように素晴らしいですね。

さらに、この詞の中では、それは「だれにでも」見えると伝えられています。きっと、目を背けたりせずに、そんな「こころづかい」や「思いやり」に、しっかりと気づいてくださいねという意味もこめられていると思います。誰もが居心地のいい安倉中を目指して、今日のこの言葉を大切にしてほしいと思います。  
是非、協力お願いします。



6組2年生作成「安倉中愛ロゴマーク」

校長室前に飾らせてもらっています

## 「傘かしげ」「うかつあやまり」「肩引き」の「安倉しぐさ」～全校集会で伝えたかったこと～

この日の全校集会では、3年生の担任の先生たち4名にも参加していただき、実演の寸劇を行ってもらいました。内容は、相手への心配りをする「江戸しぐさ」をもとにした「安倉しぐさ」でした。4人の先生との打ち合わせは、当日の昼休みにすませるというものでしたが、4人の先生たちは得意の？アドリブや一発芸も交えながら楽しく演じていただきました。さすが先生たちです。どうもありがとうございました。おかげでとても盛り上がりました。

その寸劇とは、傘をさす雨の日に道で人と人がすれ違う時という設定でした。お互いの人が、たとえ自分が雨にぬれても相手の人に雨がつかないように、と傘を傾けるという「傘かしげ」という仕草でした。そして、お互いがすれ違う瞬間に肩を引いて肩が当たりトラブルが起こるのを防ぐ「肩引き」でした。これを応用した【安倉しぐさ】として、バスや電車の通路でリュックを背負ったままの時に他の人に当たってしまうという迷惑を防ぐためにカバンを肩から下ろして持つようにする実演もしていただきました。

また、ある人が別の人の足を踏んでしまったという設定でした。こんな時には足を踏んでしまった人は「ごめんなさい」と謝るのが当然です。ところが、足を踏まれた人も、「自分こそ踏まれるようなところに足を出していてうかつ（ぼんやりしていて周りへの注意が足りないこと）でした。ごめんなさい」と謝るという「うかつあやまり」。それぞれの仕草の根底には、相手への「こころづかい」や「思いやり」が感じられます。

この安倉中学校や校外での生活の中でこの「江戸しぐさ」ならぬ「安倉しぐさ」を皆が心に留めて生活ができることもっと居心地のいい安倉中学校になることと思います。安倉中愛です。そんな学校にしていきたいと考えています。皆さん協力お願いいたします。

最後に、初めに紹介した宮澤章二さんの「行為の意味」という詩の全文を紹介させていただきます。

あなたの心はどんな形ですかと 人に聞かれても答えようがない  
自分にも 他人にも心は見えない  
けれどほんとうに見えないのであろうか  
確かに心はだれにも見えないけれど 心づかいは見えるのだ  
それは 人に対する積極的な行為だから  
同じように胸の中の思いは見えないけれど 思いやりは見えるのだ  
それは 人に対する積極的な行為なのだから  
あたたかい心が あたたかい行為になり やさしい思いが やさしい行為になるとき  
「心」も「思い」も、初めて美しく生きる それは 人が人として生きることだ  
宮澤章二「行為の意味」

期末テスト2日目終了。いよいよ明日は最終日！最後まで全力を尽くして頑張ってください。  
「雨の日には、雨の日の生き方がある。晴れ渡った日をうらやんでばかりいても仕方がない。。。テストの日には、テストの日の生き方を・・・。」  
その後は夏休みが待っています。